

女性の政治参画をどう進めるか？

～世界の潮流と日本の課題～

講師： 三浦 まりさん

上智大学法学部教授

一般社団法人パリテ・アカデミー共同代表



日付	11月23日(土) 10:00~12:00
会場	オンライン
参加人数	23人 参加費 800円
担当委員会	政策方針参画委員会

内容報告

【セミナー内容】

本委員会では、女性の声を日本の政策に反映するにはどうすればいいか、との観点から、世界の到達点と課題に学び、国内の実践に生かすことを目的にセミナーを開催しました。講師からの話を90分、その後、チャットも活用し、質疑応答・感想交流を行いました。

講演では冒頭、アメリカの大統領選挙にも触れながら、日本の政治分野での異常な遅れを指摘。日本で決定機関に女性が少ないのはなぜか？ 女性がいない(少ない)ことでどのような問題が生じるか？ 女性が増えるとどうなるか？ どうしたら女性が増えるか？ の4点を中心に、女性リーダーが少ない日本特有の障壁、ジェンダー関連法のG7各国との比較、クォータ制とパリテの違いなどに触れながら、どのような社会をめざすかが重要とのお話がありました。最後に、女性リーダーを増やすために、1、女性たちが社会や政治について語る場を作る 2、女性議員の活動をウォッチングする 3、選挙ボランティアをするという、3つの行動提起がありました。

参加者からの「小中学校での主権者教育についてどう考えるか」「パリテ・アカデミーにはどんな人が参加しているのか」などの質問に対し、講師から「小中学校のうちに地方議会を傍聴する。公園の使い方など、みんなが意見を出して決めていくリアルな体験を学校の中で作り、プロセスを体験することで難しさもわかるようになる」「パリテ・アカデミーへの応募は、5年前は40代~50代。今は20代が増え若い人の政治への関心が急速に高まっており、3年以内に立候補したいなどリアルに考えている」などの回答があり、さらに内容を深め合うことができました。